

不合格	高桑 広仁
-----	-------

	評価項目	評価	コメント
EJ/JE	communication skills	C	会話のキャッチボールが出来ておらず、コミュニケーションが成立しているとは言いがたい、あるいは1/3割以上の誤解がある。
EJ	message	C	ビジネス・時事に必要な知識・語彙力が極めて不足している。
JE	message	C	ビジネス・時事に必要な知識・語彙力が極めて不足している。
	grammar	C	基本的な文法力が弱く、そのためにメッセージが正しく伝わらないことが多い。
	fluency	C	英語の発音、イントネーション、ポーズの置き方（リズム）のいずれかが影響してメッセージが正しく伝わらないことが多い。

総評（強化すべき点、受験者へのアドバイス）

英語の文法と単語力をさらに継続しての強化が必要です。半導体 semiconductor, tax return 納税申告（書）、Tokyo Stock Exchange 東京証券取引所などの用語もチェックしてください。まず、国内の身近な話題の英字新聞の記事を単語を調べながら、丁寧に読解し、意味が完全に把握できたら、同じ記事を声に出して何回も朗読する練習が効果的だと思います。さらに調べた単語のリストを作り、それを覚えることも重要です。また、普段の生活の中で思いついたことを（例えば電車の中で）頭のなかで、しっかりと構文を組み立てて英語で表現してみる、といった練習もお勧めです。引き続きのご努力を期待しています。

※シートの見方

- ・各評価項目はA・B・Cの3段階で評価されています。
- ・現在のレベルを把握し弱点を強化してください。強みも努力を怠ることなく、さらに伸ばしていきましょう。

級	通訳技能レベル
1	ビジネス通訳をする上で必要な知識・用語が身につけており、日本語・英語の両言語において適切な表現で通訳ができる。ビジネスの現場で逐次・ウィスパー・同時通訳のいずれのモードでも柔軟に対応できる技術が身につけている。
2	ビジネス通訳をする上で必要な知識・用語が身につけており、日本語・英語の両言語において適切な表現で逐次通訳をすることができる。ある程度のまとまった長さを精度を損なわずに通訳できる技術が身につけている。
3	一般的な社会知識／ビジネス知識と逐次通訳の初歩的スキルが身につけている。継続して関わる会議の通訳において、短い区切りでの通訳、または要点を掴んだ逐次通訳を行うことができる。
4	英語を使ったコミュニケーションのサポートができる。業務例として、商談会での会話の補助、外国人接客のサポート、ボランティア通訳など。
不合格	非母語の言語力や知識・理解力などの不足により、ビジネス通訳検定の認定基準に達していない。

逐次通訳試験はPart1-3で構成され、Part別に級判定を行います。詳細は以下の通りです。

- Part1-2 … 3級・4級判定（4級に達していなかった場合不合格）
- Part3 … 2級判定

Part3に関しては、Part1-2において3級判定ラインを達した受験者にのみ評価をお知らせします。

<検定主催>

特定非営利活動法人通訳技能向上センター

[www.cais.or.jp](http://www.cais.or.jp)

